

# やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	12 / 1966 / 20
タイトル	県下理科研究発表会(第19回) 動物部会
著者名	鈴木康公

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

# 県下理科研究発表会(第19回)

## 動物部会

1年 鈴木康公

十月二日、そうです。県下理科研究発表会の日なのです。この日は、今年の我が生物部にとって心いたい日でした。しかし、先輩達が、苦心に苦心した末、二つの研究課題を出まことができました。それは杉木さんの「湯ノ島におけるカラスアゲハのマーキングを主とした蝶道の研究」と雪田さんの「ハリナガミジンコの研究」でした。この日の朝、雪田さんと杉木さんは先に会場である青森商業高校へ出かけた。それからしばらくたつて、ついにチャートができた。(佐々さん、伊藤さん、石川さん、ヤツコ君、バンザイ)これが当日の朝なので、あわててツラも洗わずにあのデツカイチャートをかかえて、佐々さん、伊藤さん、ヤツコ君が会場へドツテン車でかけつけた。ついた時は開会式をやっていたが、僕らは入らずに(ハジカシイから)控室で待つていた。開会式が終わり、各部門の教室へ入れられ、審査員の先生方の紹介の後、発表が始められた。発表課題数は五つ内容、感想と共に次にあげておこう。

- 湯ノ島におけるカラスアゲハのマーキングを主とした蝶道の研究 ..... 青森高校  
この研究は我が生物部の三年・杉木隆さんが、毎日のように、湯ノ島へ通い研究したものです。彼の努力は蝶を集めている人でなければわからないでしょう。このマーキングの方法を先生方は「ほんとうに良い思いつきでした。」とほめておられました。
- 南八甲田駒ヶ峯南西湿原の生息動物について ..... 大三沢高校  
この発表を聞いてほくは、少し程度が低いと思いました。しかし、スケールはどこにもまねのできないほど大きな物でした。
- 東八甲田黄瀬沼及び駒ヶ峯南西湿原地帯プランクトン ..... 大三沢高校  
高校生にこんな研究もできるんだなあと感心したほどでした。でもプランクトンの名は、わからぬ学名より和名で書いた方がいいと思つた。
- ハリナガミジンコの研究 ..... 青森高校  
この研究は、学者の間でも、あまり進められていないものです。本当によい課題だと思いました。この研究はもつといろんな方向に研究できる課題だと思えます。
- モンシロチョウの蛹の体色に及ぼす環境条件 ..... 田名部高校  
この研究を聞いて「おもしろそうだ。」と思つた。しかし結果が少しつまらないもので終わつてしまつたような気がする。

この発表会を見て、ほくはこう感じた。植物部問には首をつつこまなかつたが、動物部門の方は発表課題が少なすぎる。もつと動物に関心を持つてもらいたい。ところで、我が生物部の成績は、共に優秀賞を獲得できた。(良かつたね!)最後に、今後の生物部の伝統を協力・努力で守つていきたいと思います(ね)。

## 正 誤 表

原本に「正誤表」が付属している場合、該当部分を以下に転記しています。「行」は、原則としてタイトル行なども含む上からの行数です。「u」が付く場合は下からの行数です。）

頁	行	誤	正
20	5	出まこと	出すこと
20	u2	共に優秀賞を獲得できた。	「ハリナガミジンコの研究」が二位を獲得した。しかし読売コンテストでは二つとも優秀賞を獲得した。